

1： 化学品及び会社情報製品特定名

製品名 Nylon 12 CF

その他の識別手段

製品コード SDS-401930 JA J BLK

PN(部品番号) 355-02411

登録番号 情報なし

化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途 民生用

使用上の制限 情報なし。

安全データシートの提供者の詳細輸入者

株式会社ストラタシス・ジャパン
〒104-0033
東京都中央区新川2-26-3 住友不動産茅場町ビル2号館 8F
電話：03-5542-0042
Fax: 03-5566-6360

緊急連絡電話番号緊急連絡電話番号 緊急連絡電話番: 03-4578-9341
※海外のコールセンターにて24時間365日受付可能/日本語通訳のサポート有り

電子メールアドレス Support.Japan@stratasys.com

2： 危険有害性の要約呼吸器感作性または皮膚感作性

世界調和システム(GHS)による危険物質または混合物ではない

GHSラベル要素絵表示危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物質または混合物ではない

注意書き - 予防

・該当しない

注意書き - 対応

・該当しない

注意書き - 保管

・該当しない

注意書き - 廃棄

・該当しない

その他の情報

その他の危険有害性

通常の使用条件下では保護具は必要ない。暴露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。さらなる加工処理中、取扱い中、またはその他の手段により微粒子が発生すると、空気中で可燃性粉じん濃度が形成されるおそれがある。詳細はセクション7を参照。詳細は項目8を参照。

3： 組成及び成分情報

混合物

世界調和システム(GHS)による危険物質または混合物ではない

化学物質名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ポリラウラミド	30-50	(7)-360	-	25038-74-8
炭素	30-50	-	-	7440-44-0

毒物及び劇物取締法

該当しない

4： 応急措置

応急措置の記載

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。
眼に入った場合	上下の臉を持ち上げながら最低15分間多量の水で徹底的に洗浄すること。医師に相談すること。
皮膚に付着した場合	溶融残渣に触れたときは、皮膚を石鹼と水で洗うこと。
経口	多量の水を飲むこと。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	知見なし。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5： 火災時の措置

適切な消火剤	泡消火剤。水。二酸化炭素(CO2)。粉末消火剤。耐アルコール泡消火剤。
使ってはならない消火剤	知見なし。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	知見なし。
特殊消火剤	火が消えた後、十分な時間がたつまで容器を大量の流水で冷却すること。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6： 漏出時の措置

人体に対する注意事項	指定された個人保護具を使用すること。皮膚および眼との接触を避ける。すべての着火源を排除すること。滑りの危険有害性を防ぐために掃き取ること。
保護具及び緊急時措置	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	地上水または下水施設に流さないこと。水路に侵入させないこと。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	塵雲を防止する。閉鎖空間における粉塵の蓄積を防ぐこと。更なる加工、取り扱い、またはその他の手段の間に微粒子が生じた場合、空気中で爆発性の粉じん濃度を生じるおそれがある。すべての着火源を排除すること。

他のセクションを参照

詳細は項目8を参照。 詳細は項目13を参照。

7： 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。 溶融線維を取り扱うときは、皮膚および眼に触れないようにすること。 さらなる加工処理中、取扱い中、またはその他の手段により微粒子が発生すると、空气中で可燃性粉じん濃度が形成されるおそれがある。 呼吸用保護具を使用すること。

保管

保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

混触危険物質

酸化剤。 強塩基。

8： ばく露防止及び保護措置

許容濃度

この製品は供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業暴露限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない

化学物質名	日本産業衛生学会	安衛法 作業環境測定基準 管理濃度	ACGIH TLV
炭素 7440-44-0	ISHL/:	-	-

生物学的職業性暴露限界値

該当しない。

技術的対策

さらなる加工処理中に粉じんが発生する場合には、排気式換気を設けること

個人用保護具

眼/顔面の保護具

ゴーグル。 サイドシールド付きの安全眼鏡。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性衣類。

呼吸用保護具

粉塵の発生および蓄積を最小限にすること。 呼吸用保護具を着用すること。

環境暴露防止

情報なし。

9： 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的的特性に関する情報

物理的状態	固体		
外観	モノフィラメント		
色	黒色	臭い 臭いのしきい値	情報なし 情報なし
特性	<u>値</u>	<u>備考</u> · <u>方法</u>	
pH		情報なし	
融点 / 凝固点		情報なし	
沸点 / 沸点範囲		情報なし	
引火点	> 380 °C		
蒸発速度		情報なし	
燃焼性(固体、気体)		情報なし	
空気中での可燃限界			
燃焼上限:			
爆発下限			
蒸気圧		情報なし	
蒸気密度		情報なし	
比重	1.07		
水への溶解度	水に不混和性	g/cm3	
溶解度		情報なし	
水・オクタノール分配係数		情報なし	
自然発火温度		情報なし	
分解温度	> 315 °C		
動粘性率		情報なし	

動的粘度
 爆発性
 酸化特性

情報なし
 情報なし

その他の情報

VOC含有率 (%)
 かさ密度

殆どなし
 情報なし

10：安定性及び反応性

反応性 通常の使用条件下ではない。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

爆発データ
 機械的衝撃に対する感度 なし
 静電放電に対する感度 なし

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 過剰な熱。 熱分解を防ぐために、過熱しないこと。

混蝕危険物質 酸化剤。 強塩基。

危険有害な分解生成物 一酸化炭素。 二酸化炭素(CO2)。 アルデヒド。

11：有害性情報**急性毒性****製品情報**

吸入した場合 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼に入った場合 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚に付着した場合 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 知見なし
 徴候症状

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された

未知の急性毒性

混合物の 49.99995 %は急性経口毒性が未知の成分から成る。
 混合物の 49.99995 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る。
 混合物の 49.99995 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る。
 混合物の 49.99995 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る。
 混合物の 49.99995 %は急性吸入毒性(粉塵/ミスト)が未知の成分から成る。

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
炭素	> 10000 mg/kg > 10000 mg/kg (Rat)	-	-

短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報なし。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 情報なし。

呼吸器感作性または皮膚感作性	情報なし。
感作	情報なし。
生殖細胞変異原性	情報なし。
発がん性	情報なし。
生殖毒性	情報なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし。
標的臓器影響	呼吸器系。 中枢血管系 (CVS)。
吸引性呼吸器有害性	情報なし。

12： 環境影響情報

生態毒性

未知の危険有害性のパーセンテージ 混合物の 50.49495 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

生態毒性

残留性・分解性	知見なし。
生物蓄積	知見なし。
その他の有害影響	情報なし。

13： 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染された梱包	空容器を再利用しないこと。

14： 輸送上の注意

IMDG	規制対象外
ICAO	規制対象外
ADR	規制対象外
IATA	規制対象外
日本	規制対象外

15： 適用法令

化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規規則/法令

国内法規 日本

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)
該当しない

労働安全衛生法

労働者に対し健康診断を行わなければならない有害物質
該当しない

特別管理物質
該当しない

ラベルに名称を記載しなければならない有害物質
該当しない

ISHL要届出物質
該当しない

ISHL作業環境評価基準 - 管理制御レベル
該当しない。

毒物及び劇物取締法
該当しない

消防法：
該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

労働基準法
該当しない

水質汚濁防止法
該当しない

下水道法
該当しない

水道法
該当しない

大気汚染防止法
該当しない

国際規則

残留性有機汚染物質 該当しない

輸出届出要件 該当しない

国際インベントリー

TSCA	適合する
DSL/NDSL	適合する
EINECS/ELINCS	適合する
化審法番号	適合する
IECSC	適合する
KECL	適合する
PICCS	適合する
AICS	適合する

凡例：

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
 ENCS - 化審法の既存・新規化学物質
 IECSC - 中国現有化学物質名録
 KECL - 韓国既存化学物質目録
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
 AICS - オーストラリア化学物質インベントリー (Australian Inventory of Chemical Substances)

16：その他の情報

改訂日 2019-7-02

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

消防法： 該当しない。

免責事項

このSDSはJIS Z 7253 : 2012およびJIS Z 7252 : 2014(日本)に準拠しています。この安全データシートで提供される情報は、第三者情報源から得られた情報です。この情報は公開日の時点で正しい情報と考えておりますが、弊社は情報の正確さや完全さに関しても、ここで言及されている原料、物質または混合物(集散的に「原料」と称します)の質や仕様に関しても、一切の表明も保証も行いません。情報は原料の安全な取扱い、使用、消費、加工、保管、輸送、廃棄および放出に関するガイドラインとしてのみ提供されています。情報はこのような目的にとって充分でない可能性があるため、使用者は提供される情報に依存すべきではありません。情報は他の原料と混合された原料、またはここに明白に提示されているプロセス以外のプロセスに使用されている原料には該当しない場合があります。弊社はこの安全データシートに含まれる情報に起因する、または情報に依存した結果として生じる被害、損失または費用を含むがこれらに限定されない、いかなる種類の責任も負わないものとします。この安全データシートの独占所有権は弊社に帰属しており、事前の書面による同意がなければ複製、変更、配布を行う事はできません。